

## 被災者求職支援 職業訓練始まる

遠野に実習場

求職中の被災者らの職業訓練が23日、遠野市で始まり、19人が受講した。運営困難な沿岸部の職業訓練校に代わり、独立行政法人雇

用・能力開発機構岩手センターが遠野実習場を開設した。

訓練コースは長期雇用が見込まれる「住宅建築施工科」と「住宅設備施工科」で定員は各10人。受講生は沿岸部のハローワークで求職していた被災者。半年かけて技術を習得した後、センターとハローワークが就職先をあっせんする。今後20人単位で受け入れる予

定で、数年間は続ける方針という。

冷凍食品管理会社に勤めていた釜石市の自宅が流された平松武人さん(52)は「取引先のスーパーや商店がなくなり、会社の規模縮小で失業した。家のローンの支払いがあるが、生きる希望がわいてきた」と話した。大船渡市の自営業畠山正志さん(46)は「流された店の再建を考えてきたが浸

水域なので可能かどうかわからない。方向を転換して技術を身につけ、前進したい」。(木瀬公二)